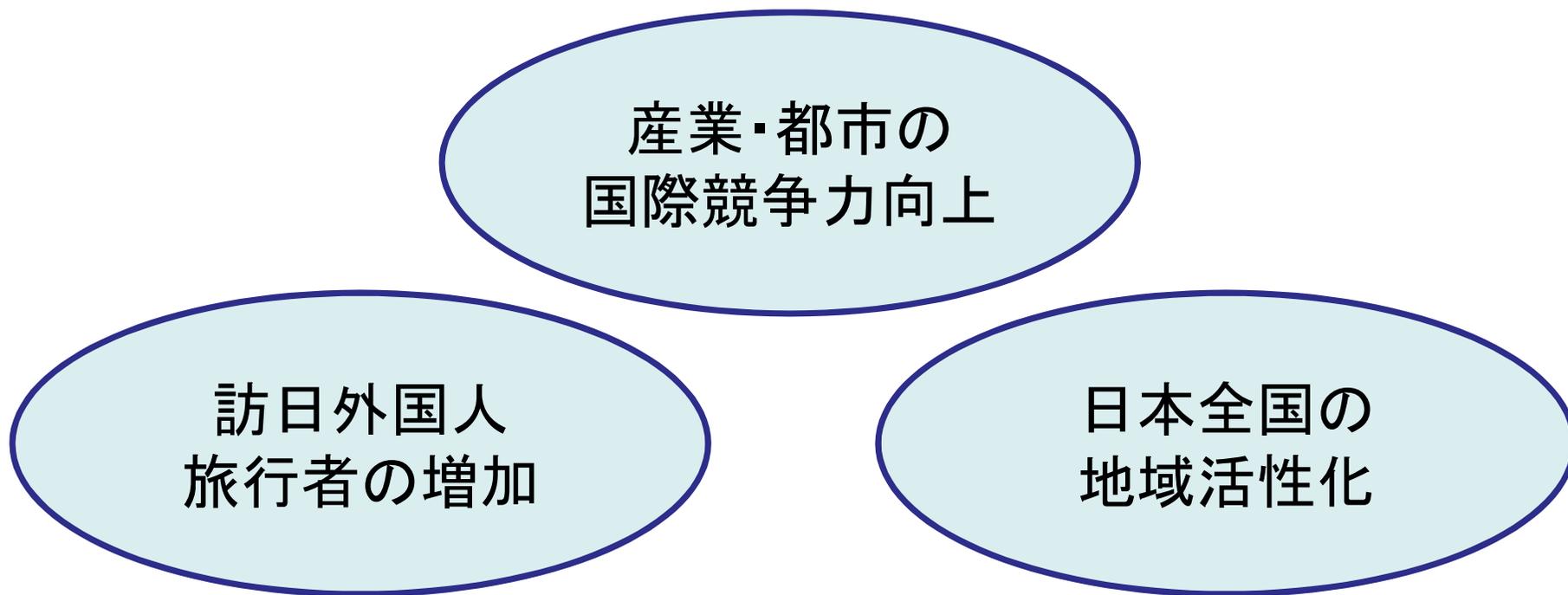


基本的考え方

- ◆ アジア等の世界経済の成長を取込み日本経済の一層の発展を図るため、日本の航空システムの長所を伸ばしつつ、更に日本の空を世界に開く。国際航空の環境変化に機敏に対応し、戦略的に我が国航空企業や空港の国際競争力を向上。
- ◆ 我が国航空企業が、国際競争に対し後手に回っていると見られがちな対応から一步踏み込み、航空ニーズの創造を積極的に進めることができるよう、航空行政は市場環境や将来動向等をにらみながら、ボトルネック解消のための環境整備を実施。

日本の航空が貢献すべき価値



1. 航空ネットワーク構築のための強固な基盤づくり

首都圏空港の更なる機能強化

首都圏以外の国際拠点空港等の機能強化

管制処理能力の向上、航行援助施設利用料の見直し

空港経営改革の推進

我が国の航空企業のコスト競争力向上の環境づくり

操縦士・整備士等の養成・確保

航空機騒音対策の推進、航空分野の低炭素化

2. 充実した航空ネットワークの構築と需要の開拓

より開かれた国際的な枠組みの構築

我が国の航空企業の国際航空ネットワーク戦略の構築

我が国のLCC市場の成長

観光振興と一体となった航空ネットワークの構築

ビジネスジェットの就航促進

我が国の航空貨物ネットワークの充実

航空インフラの海外展開

地方航空ネットワークの安定的な確保

3. 質の高い航空・空港サービスの提供

航空・空港サービスの安全性の確保

空港の利用環境の改善

空港アクセスの強化

シームレスな移動やイレギュラー時の適切な対応の確保のための事業者間連携

	我が国航空企業が国際競争に対峙できるコスト構造を身に着けるため	我が国の国際航空ネットワークの拡充を図るため	我が国の航空サービスの質的向上を図るため
航空企業 空港等	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 国内外の航空企業間の競争を促進し、企業体力を磨く自助努力を強力に促進 ➢ LCC市場の成長で多様な航空ネットワークが構築される中で、全体のコスト水準を低下 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 限られた市場の中での営業展開から脱皮し、新規市場の開拓を指向した独自の航空ネットワークを構築するための戦略を確立 ➢ 海外企業との連携やセカンドブランドの展開等による航空ネットワーク拡充 ➢ 乗継需要の積極的な取込みと訪日外国人の多様なニーズを重視した営業展開 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 利用者目線に立った動線改良や乗継時間の短縮など空港の空間マネジメント改善 ➢ 事業者間の連携を強化することによる、航空利用者に対するサービス水準向上
航空行政	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 空港関係のコスト全体の水準を低下させることで、航空企業の負担の軽減を推進 ➢ 公租公課等の相当部分を欧米並みに航空利用者から直接徴収する体系へ移行する具体的方策を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 首都圏空港の更なる機能強化をはじめ、空港及び管制の処理能力の向上と空港の活性化 ➢ 航空輸送の枠組みの見直し、独自路線開設のインセンティブの付与、観光政策と軌を一にしてLCC等を活用した全国での訪日外国人受入促進策等の施策を推進し、健全な競争環境の整備に努めつつ、航空企業の航空需要創造の取組を積極的に後押し 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者に対する監査・審査等の強化や 空港の維持管理・更新による安全の確保 ➢ 空港アクセスの確保・充実(特に大都市圏における深夜早朝時間帯のアクセス確保) ➢ 国管理空港での顧客満足度調査の実施